

## 会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（7月定例会）会議録
開催日時	平成24年7月20日（金曜日）14時00分から16時35分まで
開催場所	保谷庁舎 3階第2会議室
出席者	委員：須永議長、齋藤副議長、内田委員、川崎委員、倉島委員、操野委員、白木委員、浜崎委員、原委員、本領委員、矢野委員 （欠席）稲葉委員、山田委員 事務局：磯崎社会教育課長、吉田社会教育係長、神田主査
議題	(1) 社会教育施策の今後のあり方について (2) その他 1. 正副議長（平成24年7月1日～平成25年6月30日）の選出について 2. 教育計画策定懇談会委員の選出について 3. 都市社連協役員会の報告 4. 社教情報No.67の購入について 5. 関東甲信越静社会教育研究大会（10月24日～26日）の参加について 6. 補助金の申請受付状況報告
配布資料	1 提言に向けた各委員からのレポート 2 平成24年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会臨時役員会会議要点録 3 第54回全国社会教育研究大会山梨大会・第43回関東甲信越静社会教育研究大会開催要項 ・社教情報No.67案内チラシ ・みんなの生涯学習 NO.108 ・図書館だより 第46号
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>平成24年6月定例会議の会議録4ヶ所訂正後、承認する。 ※当日の議事は、議題（2）、議題（1）の順で進行する。</p> <p><b>(1) 社会教育施策の今後のあり方について</b></p> <p>○議長： 前回お願いしていた社会教育施策の今後のあり方についてのレポートが、配布資料1「提言に向けた各委員からのレポート」のとおり事前に6人の委員の方から出された。今日の会議でもう1人の委員からレポートが出されたので、7人の方にそれぞれ内容についての説明をお願いし、意見交換をしたい。</p>	

○委員：

今後のあり方について考えるための取り掛かりとして、組織を再編成することを考えた。以前の組織に戻る感じはあるが、生涯学習部を新設し、放課後子ども教室を担当する係を作り、地域連携係にはコーディネートの役割を担ってやって欲しい。まずは、組織を考えることから検討してみたらどうか。

○委員：

組織が変わればいろいろなことがやりやすいが、現状の組織で何ができるかを考えてみたい。最近は学校でのいじめ問題への対応から、教育委員会制度の存在に疑問の声も上がっている。成果が出るまでに時間のかかる教育施策には長期的展望が求められるが、変化の激しい首長部局行政ではそういった施策を打ち出しにくいのではないだろうか。今社会教育行政の所管として残っている文化財保護施策を生かした施策を打ち出し、新たな地域づくりを展開していくこと、また、地域連携の一環として社会教育課が公民館、図書館としっかり連携し、施設の機能を生かしながら市民への学習支援サービスや学校支援の窓口の一本化を目指すといった取り組みが必要だろう。成果を地道にあげていくことで、社会教育行政の存在価値を高めていくことが大切だと思う。

○委員：

公民館、図書館はそれぞれに機能していると思うが、地域の中で別なものとして動いていて、繋がっていない。それらのパイプ役、調整役が社会教育課だろう。

委員：

人材情報の活用についても、まず情報の1本化から始める事が大切で、そういった取り組みの後に、活用という動きが出てくると思う。

○委員：

地域の集会所等のサークル情報などもどこに聞けばいいのかわからない。

委員：

それぞれの施設の所管が行政では違っても、市民にとっては、地域にある施設としては同じに捉えていると思う。

○委員：

立派な文章の提言を作っても、それが実行できたのか、その成果はなかなか見えてこない。小さな地域に根差した社会教育に重点をおいて、足元を充実させることを考えていきたいと思う。

○委員：

社会教育が社会の出来事や問題に対して何ができるのか、これからの社会教育の可能性について考えていくことも大切だろう。

○委員：

教育行政の施策を示す計画としては、教育計画と生涯学習推進計画がある。これらの計

画にある事業が実施されない理由を精査し、実行できる施策を重点的に提案していく必要がある。第3次行財政改革大綱の改革方針からは、財政難を背景に行政サービスの委託化や民間活用等の方針が読み取れる。人も予算も減らされていく中では、市民の参画と協働、ネットワークづくりなどが求められており、教育の諸計画の施策の中でも示されているが、そういったことをしっかりやっていけばよいと思う。施設の利用団体の把握も、公民館や社会福祉協議会などでやっているが民間ベースにまかせることもできるのではないだろうか。しかし、行政としてやらなくてはいけない部分もあるので、それらをしっかりとやっていくことも必要である。また、市の総合計画に意見を反映させていくことも大切であろう。

○委員：

現在は市の行財政改革や教育計画を踏まえた施策が展開されているが、より一層の推進を図るためには、組織にまで踏み込まないと業務が連動していかないと思う。動かすためには、具体的に提案していく必要があるだろう。生涯学習事業については、庁内の各課で取り組まれており、全市的に対応していくためには生涯学習課を新設し、専門的職員を配置して推進していく。また、文化財保護のための係も新設し、学芸員の配置も含め専門的に進めていく。公民館、図書館はそのままにして、社会教育課は従来の事業を担当し、生涯学習課で専門的に生涯学習の推進や文化財保護を推進していくイメージである。

委員：

具体的に今何か問題があるのかを考えてみたい。社会教育・公民館・図書館が並列に置かれているが、地域生涯学習事業などで公民館を活用できないかなど、部としての動きが必要であり、そのためには全体を俯瞰する部署が必要ではないかと思う。また、私自身傾聴ボランティアの活動をしているが、ボランティア活動のニーズは高く、地域には、組織化されなくてもいろいろなボランティア活動をやっている人がいる。ボランティア活動は自己実現やスキルを得ることにつながるものであり、生涯学習ともいえるだろう。社会福祉協議会やボランティアセンターとつながるなど福祉的なボランティアと社会教育の連携から、問題解決のできる社会教育のあり方や役に立つ社会教育施策を考えてみたいと思う。

○委員：

社会教育の部署が統一性を持ってやってもらいたいと思う。今後望む社会教育施策としては、提言「全員参加の地域づくりをめざして」を部全体で取り組んで進めていただきたい。また、西東京市が好きという意識が、年齢が上がるにつれて下がるといった調査結果もあり、西東京市の良いところを子どもに伝えていくことが大切だろう。そのためには、地域に誇りが持てるよう、文化・芸術活動などを企業の支援や活用により進めていってほしい。社会教育委員としても、事業がうまく進んでいるか審議し、意見を言える活動をしていきたいと思う。

○議長：

次回また、引き続き今後の進め方も含めて議論したい。他の委員の方も次回までにレポートを出していただきたい。

## (2) その他

1. 副議長（平成22年7月1日～平成23年6月30日）の選出について
  - ・ 正副議長について、委員の互選により選出する。

### 決定

議長 須永 功委員  
副議長 齋藤 勝利委員

※前議長退任あいさつ  
※正副議長就任あいさつ

2. 教育計画策定懇談会委員の選出について

#### ○議長：

教育企画課より社会教育委員の会議に、平成26年度からの次期教育計画を策定するための教育計画策定懇談会委員1名の選出を依頼された。私須永が引き受けることになった。任期は24年度・25年度で年間10回位の会議回数となる。第1回会議は、7月25日(水曜日)に開催される。

3. 都市社連協役員会の報告

#### ○事務局：

4月の総会の後、臨時役員会が開かれ、運営改善について、配布資料2「平成24年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会臨時役員会会議要点録」のとおり協議された。7月26日に第1回理事会が開催され改善案について審議される。各市で7月24日までに意見を取りまとめて第4ブロックの幹事市の小平市に報告することになっているので、改善案についてのこの会議での意見を取りまとめていただきたい。

※配布資料に沿って、改善案の提案項目について意見交換を行い、西東京市としての意見を取りまとめた。

4. 社教情報 No.67 の購入について

#### 事務局：

購入希望者は8月10日(金曜日)までに事務局へ申し出てください。

5. 関東甲信越静社会教育研究大会（10月24日～26日）の参加について

#### ○事務局：

今年度の関東甲信越静社会教育研究大会は、配布資料3の要項のとおり全国社会教育研究大会山梨大会と合同開催で、山梨県甲府市で開催される。24日は理事会のみ、25日が記念講演とシンポジウム、26日が分科会となっている。負担金は公費負担で、日帰りで1日参加の予定で公用車を手配する予定である。宿泊を希望される場合の宿泊費と片道の交通費は自己負担での参加となる。次回会議で参加の取りまとめをしたいので参加希望日を決めて来ていただきたい。

6. 補助金の申請受付状況報告

事務局：

補助金の申請受付については、チラシ・ポスター・市報・HP等でPRを行い、6月20日（水曜日）午後6時30分より補助金説明会を開催した。参加団体は2団体で初めての団体だった。7月13日（金曜日）に申請を締め切ったが、説明会に来た実行委員会形式の1団体から申請があった。以前から申請をしたいということで相談のあった団体が1団体あったが、結果申請されなかった。また説明会に参加したもう1団体も今回は時間的に申請手続きが難しいということで申請されなかった。申請のあった1団体については、次回会議で審査をお願いしたい。

議長：

以上で本日の社会教育委員の会議（7月定例会）は終了する。

※次回会議 平成24年8月17日（金曜日）午後2時から